

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	がん患者支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1．基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課				款	4	新規or継続	継続事業
	係	健康づくり係				項	1	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	3111	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		事業 期間	開始年度	R3	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	-	事業分類	現金等給付事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進						
	基本事業	1	健康づくりの推進						

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	がん治療に伴う脱毛に対応するための医療用ウィッグや、手術による乳房の形の変化に対応するための補整下着またはシリコンパット等の胸部補正具の購入にあたり、その費用の一部を補助する事業。 令和7年度より若年がん患者の在宅療養生活の質の向上に要する訪問介護等の一部補助事業を開始。 医療用ウィッグ：上限30,000円、乳房補整具：上限20,000円、在宅ケア等：上限1か月54,000円（生活保護受給者は60,000円）
------	--

（2）目的

目的 （本事業によって成し遂げたい状態）	がん治療に対する理解を深め、健康の保持増進につなげることができる。	（3）目標値		↓選択して下さい	後期計画				
		効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	値が大きいほど良い	76.5	78.0	79.0	80.0	81.0
		がん検診受診率(指針で定める5がん)	%	値が大きいほど良い	30.0	24.1	25.8	27.4	28.9

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 （R7年度に行った主な活動内容）	がんと診断され、その治療に伴う脱毛、乳房の切除等により、医療用ウィッグまたは乳房補整具を購入した者への購入費の一部助成を行った。 若年がん患者の在宅療養生活の質の向上に要する訪問介護等の一部補助を行った。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7	※実1名
		医療用ウィッグの補助件数	件	41	42	37	45	
		乳房補正具の補助件数	件	10	12	7	11	
		在宅ターミナル支援の補助件数	件				2	
		事業費計	千円	1,354	1,374	1,205	1,527	
		一般財源	千円	861	877	780	972	
		特定財源（国・県・他）	千円	493	497	425	555	
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0	0	

（3）活動による効果

効果説明	補助件数は一定数はあり、需要はあると考えられる。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	73.5	75.2	72.6	71.3	効果が下がった	×
		がん検診受診率(指針で定める5がん)	%	19.4	20.2	21.2	21.7	効果が上がった	×

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標	効果		
	目標未達成だった指標数	2指標	効果が上がった		
	効果が上がった指標数	1指標	効果が変わらない	効果が下がった	
効果 (R7と過去3年平均 の指標値増減)	効果は変わらない指標数	0指標	目標達成	達成	
	効果が下がった指標数	1指標		未達成	
	指標全体	効果は変わらない	1指標		
	費用（R7とR6の事業費計増減）	費用が増加した	※1 0万円以上の増減により判断		

4．次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

必要な方が本事業による助成を受けられるよう、引き続き周知方法していく。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 現状を維持する。
---	----------------------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	こころの健康づくり事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1．基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課		こころの健康づくり事業		款	4	新規or継続	継続事業
	係	健康づくり係				項	1	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	3111	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	3	義務or任意	義務的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり			開始年度	H31	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	-	事業分類	相談事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進						
	基本事業	1	健康づくりの推進						

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	・自殺予防対策事業として、全庁的な連携体制のもと、関係機関等との連携を図り、市民のこころの健康づくりを推進する。 ・自殺対策ネットワーク会議により、市、関係機関及び関係団体の自殺対策に関する連携を図る。 ・対面相談、人材育成、普及啓発、若年層対策を実施する。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市民が、こころの健康に対する関心と理解を深め、自らのこころと体の健康状態に合わせた日常生活を送り、健康の保持増進につなげることができる。
-------------------------	--

（3）目標値

↓選択して下さい

後期計画

効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
市の自殺死亡率(年毎・10万人当たり)		値が小さいほど良い	12.1	10.8	9.4	8.1	6.7

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	・年間を通して、こころの健康相談を実施(2 ～ 3 回/月)。 ・庁舎や市有施設に「すこやかなこころのための手引き」や自殺予防啓発カードを設置。 ・6月に自殺予防対策連絡会議、7月に自殺対策ネットワーク会議を開催。 ・1月 「二十歳のつどい」参加者への啓発物品の配布。 ・2月 ゲートキーパー養成講習会を開催。 ・3月 こころの健康づくり教室を開催。
--------------------------	--

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
こころの健康相談 利用者	人	64	57	62	67
ゲートキーパー累計者数	人	870	938	1,002	1,058
こころの健康づくり教室 参加者	人	19	51	45	31
事業費計	千円	900	1,036	1,132	1,028
一般財源	千円	274	484	563	551
特定財源（国・県・他）	千円	626	552	569	477
（うち受益者負担）	千円	0	0	0	0

（3）活動による効果

効果説明	・ゲートキーパー累計者数の参加者数は順調に伸びている。また、こころの健康相談の利用者は、R5以降、40人以上の参加が得られている。 ・市の自殺死亡率(年毎・10万人当たり)は、R5年度では目標達成したものの、R6年には増加した。
------	--

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
市の自殺死亡率(年毎・10万人当たり)		13.8	10.4	18.4	9.74	効果が上がった	○

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	1指標
	目標未達成だった指標数	0指標
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標
	効果は変わらない指標数	0指標
	効果が下がった指標数	0指標
	指標全体	効果が上がった
費用（R7とR6の事業費計増減）	費用は下がった	

		効果		
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
目標達成	達成	1指標		
	未達成			
目標未設定				

※ 1 0 万円以上の増減により判断

4．次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和7年度では、こころの健康相談を30回予定していたが、直近の日程が予約満了となり別日を案内することがあったのに対し、予約が入らない日もあり、最終的には27回の実施であった。また当日のキャンセルもあった。このことから、空きのある日程の周知方法の検討、当日のキャンセルを防ぐ方法の検討が必要である。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

取組説明	
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☒ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	・こころの健康相談の予約の空き状況を、必要に応じて周知する。 ・こころの健康相談の当日キャンセルを少なくするよう、必要に応じて予約日前に対象者に連絡する。 ・関係機関や関係団体、健康長寿づくりに関する協定締結事業所等と連携し、各種事業の周知を行う。 ・令和8年度においても、実施状況や社会情勢をかんがみて事業の在り方を検討していく。

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	さの健康 2 1プラン策定事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	期間限定複数年度
	課	健康増進課				款	4	新規or継続	継続事業
	係	健康づくり係				項	1	市単独or国庫補助	市単独事業
政策体系	体系コード	3111	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		事業期間	開始年度	R 6 年度	実施方法	一部委託
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	R 7 年度	事業分類	計画策定・管理事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進						
	基本事業	1	健康づくりの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	令和6年度実施の生活習慣調査及び「さの健康 2 1プラン（第2期計画）」の最終評価をもとに「さの健康 2 1プラン（第3期計画）」を策定。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	心身ともに健康でいきいきと生活できるようにし、健康寿命の延伸を図れるようになる。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	値が大きいほど良い	76.5	78.0	79.0	80.0	81.0

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 （R7年度に行った主な活動内容）	さの健康 2 1プラン(第3期計画)策定 本編・概要版の作成 さの健康 2 1プラン庁内委員会の開催（4回） さの健康 2 1プラン庁外委員会の開催（2回） 庁議 公表	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		策定委員会・検討部会（庁内委員会）の開催	件	－	－	5	4
		健康づくり推進協議会（庁外委員会）の開催	回	－	－	2	2
		事業費計	千円	0	0	1,344	1,760
		一般財源	千円			1,344	1,760
		特定財源（国・県・他）	千円			0	0
		（うち受益者負担）	千円			0	0

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	市民一人ひとりが生涯にわたり、主体的に健康づくりに取り組むため、また、個人の健康づくりを地域や行政など、社会全体で支援していくための諸活動の指針となる。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	－	－	72.6	71.3	効果が下がった	×

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標	効果		
	目標未達成だった指標数	1指標			
効果 （R7と過去3年平均の指標値増減）	効果が上がった指標数	0指標	目標達成	達成	効果が上がった
	効果は変わらない指標数	0指標		未達成	効果が変わらない
	効果が下がった指標数	1指標	目標未設定		効果が下がった
	指標全体	効果が下がった			1指標
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和7年度に予定どおり「さの健康 2 1プラン（第3期計画）」を策定した。 本プランの最終目標を達成できるよう、市民に広くプランを周知するとともに、関係各課や関係団体等と連携して、健康づくり事業に取り組んでいく必要がある。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☒ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 計画策定が終了となったため事業は廃止し、健康長寿推進事業で「さの健康 2 1プラン（第3期計画）」の推進を図っていく。
---	---

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	みかもクリーンセンター余熱利用施設指定管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	市民生活部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	期間限定複数年度
	課	環境政策課		みかもグリーンセンター余熱利		款	4	新規or継続	継続事業
	係	施設係		用施設指定管理事業		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	3111	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	7	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	佐野市みかもグリーンセンター 余熱利用施設条例		開始年度	H21	実施方法	指定管理者
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	－	事業分類	施設維持管理事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進						
	基本事業	1	健康づくりの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	・ごみ焼却施設の余熱を利用した温浴施設、温水プールなどからなる複合施設の維持管理・運営を行うにあたり、民間のノウハウを活用し、市の財政負担を軽減すると共に、市民サービスを向上するため、指定管理者に委託する。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・市民が施設を利用することで、市民の健康増進と交流促進を図る。 ・設計、建設及び維持管理運営を包括して指定管理委託することで財政負担縮減を図る。	（3）目標値	↓選択して下さい		後期計画				
		効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		施設利用者数	人	値が大まかいほど良い	260,000	300,000	300,000	300,000	300,000
		施設利用収入額	千円	値が大まかいほど良い	97,410	98,385	98,385	98,385	98,385

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	・余熱を利用した温浴施設、温水プール及びトレーニングルームや多目的運動場などからなる複合施設の維持管理・運営業務を、契約書等に従い指定管理者と年度協定を締結した。 ・四半期ごとに年4回維持管理運営モニタリングを実施した。	（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移					
		活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		施設利用者実績数	人	238,181	276,551	282,959	293,255
		施設利用収入実績額	千円	67,110	77,109	77,408	77,653
		事業費計	千円	84,260	101,013	120,559	120,559
		一般財源	千円	82,947	99,700	119,460	115,650
		特定財源（国・県・他）	千円	1,313	1,313	1,099	4,909
		（うち受益者負担）	千円				

（3）活動による効果

効果説明	・施設利用者数が、コロナ禍前の水準に概ね戻ってきた。	（4）事業効果を説明する数値データの推移							
		効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		施設利用者数	人	238,181	276,551	282,959	293,255	効果が上がった	○
		施設利用収入額	千円	67,110	77,109	77,408	77,653	効果が上がった	×

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	1指標	効果		
	目標未達成だった指標数	1指標			
	効果が上がった指標数	2指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標	目標達成	達成	1指標
	効果が下がった指標数	0指標	未達成	未達成	1指標
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	指標全体	効果が上がった	目標未設定		
費用（R7とR6の事業費計増減）	費用の増減無し				

※ 1 0 万円以上の増減により判断

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・指定管理 1 期目と比較し、屋外施設の利用者が減少しているため、利用者を増加させる必要がある。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☒ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 ・指定管理2期目になり屋外施設の利用者が減っているため、更なるサービス向上等を図りながら利用者数を増加させる必要がある。
---	--

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	みかもクリーンセンター余熱利用施設管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	市民生活部	予算中事業名	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	環境政策課					
	係	施設係					
政策体系	体系コード	3111	名称	予算科目	7	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健康で元気に暮らせるまちづくり				
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり				
	施策	1	心と体の健康づくりの推進				
	基本事業	1	健康づくりの推進				
			根拠法令、条例等	事業期間	開始年度	H21	実施方法
			佐野市みかもクリーンセンター余熱利用施設条例				
				終了年度	—	事業分類	施設維持管理事業

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	・ごみ焼却施設の余熱を利用した温浴施設、温水プールなどからなる複合施設の維持管理・運営を行うにあたり、民間のノウハウを活用し、市の財政負担を軽減すると共に、市民サービスを向上するため、指定管理者に委託する。 ・地元町会からの要望による地域振興策として無料利用券委託事業や業務実施について確認を行うモニタリングを行う他、市が負担するリスク費を指定管理者に補償する。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・市民が施設を利用することで、市民の健康増進と交流促進を図る。 ・地元振興策による利用促進を図る。
-------------------------	--

(3) 目標値

		↓選択して下さい		後期計画					
効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11		
施設利用者数	人	値が大まかいほど良い	260,000	300,000	300,000	300,000	300,000		
施設利用収入額	千円	値が大まかいほど良い	97,410	98,385	98,385	98,385	98,385		

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	・指定管理者により実施された維持管理運営事業について、契約書等の基準を達成しているかを確認するモニタリングを実施した。 ○維持管理運営モニタリング（四半期ごと年4回開催） ・地元振興策として、余熱利用施設無料利用券を地元3町会に配布し、周辺住民利用促進業務を実施した。 ○周辺住民利用促進（各町会2000枚、計6000枚配布） ・火災保険への加入 ・経年劣化により不具合の発生した設備を更新した。
--------------------------	---

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
施設利用者実績数	人	238,181	276,551	282,959	293,255
施設利用収入実績額	千円	67,110	77,109	77,408	77,653
事業費計	千円	3,273	869	2,994	9,427
一般財源	千円	3,273	869	2,994	9,427
特定財源（国・県・他）	千円				
（うち受益者負担）	千円				

(3) 活動による効果

効果説明	・安定的に施設運営を行うことができ、施設利用者数はコロナ禍前の水準に戻つつある。
------	--

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
施設利用者数	人	238,181	276,551	282,959	293,255	効果が上がった	○
施設利用収入額	千円	67,110	77,109	77,408	77,653	効果が上がった	×

(5) 目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成 効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	目標達成した指標数	1指標
	目標未達成だった指標数	1指標
	効果が上がった指標数	2指標
	効果は変わらない指標数	0指標
	効果が下がった指標数	0指標
指標全体		効果が上がった
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用が増加した

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果			
目標達成	達成	効果が上がった	効果は変わらない
		1指標	
	未達成	1指標	
目標未設定			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・供用開始後17年が経過し施設も老朽化してきたため、修繕等適切な維持管理が必要となる。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☒ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 ・老朽化した設備・機器の更新に向け、適切な事業費を確保し長寿命化を図る。
---	--

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	健康長寿推進事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約①	4-①	市長公約②		総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当なし	コンパクトシティ		スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	健康増進課			款	4	新規or継続	継続事業	
	係	健康づくり係			項	1	市単独or国県補助	国県補助事業	
政策体系	体系コード	3111	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	義務的事業	
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	健康増進法、佐野市健康長寿推進条例、佐野市歯及び口腔の健康づくり推進条例	事業期間	開始年度	R5年度	実施方法	一部委託
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり		終了年度		事業分類	その他市民に対する事業	
	施策	1	心と体の健康づくりの推進						
	基本事業	1	健康づくりの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	健康寿命の延伸を目指し、市民が生涯にわたり健やかで心豊かに暮らすことができるよう、①健康づくりに関する基本理念等を定めた条例に基づき、健康づくりに関する関係団体等との協働による健康づくりの施策を総合的かつ計画的に推進する。②健康増進法第17条第1項及び第19条の2に基づく健康増進事業を実施する。③さの健康 2 1プランに基づく事業を推進する。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	心身共に健康でいきいきと生活できるようにする。	（3）目標値	↓選択して下さい		後期計画				
		効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	値が大きいほど良い	76.5	78.0	79.0	80.0	81.0
		特定健診受診率	%	値が大きいほど良い	36.0	39.0	41.0	43.0	45.0
		がん検診受診率	%	値が大きいほど良い	30.0	24.1	25.8	27.4	28.9

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	・5月に協定締結事業所と健康・長寿づくり協働事業情報交換会を実施し各事業所の取り組み内容や意見交換をした。 ・5月にジブラルタ生命保険会社小山支社、10月に日本生命保険相互会社小山支社並びに公益社団法人佐野市シルバー人材センターと協定締結をした。 ・16事業所に健診やこころの健康教室などの周知依頼をした。 ・健康サポートステーション及び依頼時健康教育で、生活習慣の改善の必要性について指導した。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		協力企業との協定締結数（累計）	件	－	12	13	16
		事業の実施回数	回	－	204	195	217
		事業の参加者数（延人数）	人	－	3,426	3,355	3,863
		事業費計	千円	0	83	1,614	1,592
		一般財源	千円		28	699	657
		特定財源（国・県・他）	千円		55	915	935
		（うち受益者負担）	千円				

（3）活動による効果

効果説明	特定健診受診率及びがん検診受診率は微増し、協定企業による周知活動が受診率向上に寄与していると考えられる。 健康づくりに取り組んでいる市民の割合は減少し、健康に関係した情報提供の強化が必要。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	－	75.2	72.6	71.3	効果が下がった	×
		特定健診受診率	%	－	32.1	33.4	34.5	効果が上がった	×
		がん検診受診率	%	－	20.2	21.2	21.7	効果が上がった	×

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標	効果		
	目標未達成だった指標数	3指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	効果が上がった指標数	2指標	目標達成	達成	
	効果は変わらない指標数	0指標		未達成	2指標
	効果が下がった指標数	1指標	目標未設定		1指標
指標全体		効果が上がった			
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

本市の健康寿命の延伸を目指すため、栃木県と比較高い脳血管疾患・心疾患・悪性新生物の標準化死亡比を下げられるような事業の実施について、令和8年度始期の「さの健康 2 1プラン(第3期計画)」の推進を図り、更なる健診受診勧奨や市民の行動変容に繋がる実効性をもった保健（栄養）指導、健康教育等の強化が必要。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

取組説明	
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	①各種健（検）診や健康教室のPRを企業と協力して行い、受診率向上や各事業の参加者の増加を目指す。 ②自身の野菜摂取量等の実態を知ること、生活習慣を振り返り、食習慣等の生活習慣を改善するきっかけとなることを目的に測定会を実施する。 ③健康教育等で、本市の脳血管疾患・心疾患・悪性新生物の標準化死亡比が高い現状と予防法を周知する。

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	特定健康診査事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算科目	会計	国民	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課				款	4	新規or継続	継続事業
	係	健康づくり係				項	2	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	3111	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	義務的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		事業期間	開始年度	H20年度	実施方法	一部委託
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	－	事業分類	健診・予防事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進						
	基本事業	1	健康づくりの推進						
				高齢者の医療の確保に関する法律					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野市が医療保険者となっている佐野市国民健康保険において、加入者に対して特定健康診査を実施する。 対象：40～74歳の国保加入者 実施方法：個別健診（協力医療機関で実施する健診）または、集団健診（保健センター等で実施する健診）
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査を受診することで、生活習慣病予防と重症化防止を図り、健康の保持増進につなげる。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		特定健診受診率	%	値が大きいほど良い	37.0	39.0	41.0	43.0	45.0

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	市民への健診への意識向上と受診率向上のため、「けんしんスタートブック」を作成し、対象者全員に世帯ごとに郵送した。その他随時、広報やホームページでの受診啓発を行ったり、健康まつりや健康教育など様々な機会を受診勧奨を行った。また、健康・長寿づくりに関する協定締結事業所に、受診勧奨チラシの配布協力を依頼した。 集団健診の予約が取りやすいように、期間限定のコールセンターを開設したり、24時間Logoフォームで予約を受け付けた。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		健診スタートブック発送数	通	49,676	49,921	49,975	50,082
		Logoフォーム予約数	件	－	1,742	3,615	4,304
		事業費計	千円	37,120	38,770	42,498	45,215
		一般財源	千円	13,242	18,360	22,159	25,301
		特定財源（国・県・他）	千円	23,878	20,410	20,339	19,914
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	受診率は微増しているものの、目標達成には至らなかった。	（4）事業効果を説明する数値データの推移	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
			特定健診受診率	%	30.6	32.1	33.4	34.5	効果が上がった	×

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標	効果		
	目標未達成だった指標数	1指標			
	効果が上がった指標数	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標	達成	未達成	1指標
	効果が下がった指標数	0指標	目標未設定		
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	指標全体	効果が上がった			
費用（R7とR6の事業費計増減）	費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断			

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

40～50代の率が20%台と低いため、働き世代の受診率向上対策を健康・長寿づくり連携協定企業等と協力しながら進めていく。 受診勧奨について、勧奨のタイミング、方法、対象者、についてより効果の高いものを検討していく必要がある。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☒ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 ①受けやすい受診体制の維持 ②若い世代に向けた受診率向上対策 ③佐野市医師会との連携の強化
---	---

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	佐野食品衛生協会支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課			款	4	新規or継続	継続事業
	係	健康づくり係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	3111	名称		目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	事業期間	開始年度	S38	実施方法	一部委託
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり		終了年度		事業分類	支援事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進					
	基本事業	1	健康づくりの推進					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野食品衛生協会に補助金を交付し、佐野市食品衛生協会が行う食品の衛生普及向上活動を支援する。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	健康づくりの基礎のひとつとなる食品について、営業者として食品衛生について自覚を促すと共に食品衛生の普及啓発をする。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	値が大きいほど良い	76.5	78.0	79.0	80.0	81.0

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	<市の活動> 佐野市食品衛生協会に補助金を交付するための事務。総会に出席。 <団体の活動> 役員会、理事会、総会、指導員養成講習会、食品衛生指導員研修会及び部会、営業施設の食品衛生巡回指導、食品衛生責任者養成講習会、食品衛生責任者再教育事業、調理師試験準備講習会、消費者懇談会等を実施した。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		講習会及び研修会等延べ参加者数	人	854	387	727	553
		営業施設の食品衛生巡回指導延施設数	施設	1,150	1,005	899	876
		事業費計	千円	50	50	50	50
		一般財源	千円	50	50	50	50
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	健康づくりに取り組んでいる市民の割合は減少した。	（4）事業効果を説明する数値データの推移	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
			健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	73.5	75.2	72.6	71.3	効果が下がった	×

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標	効果	効果		
	目標未達成だった指標数	1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果が上がった指標数	0指標		達成		
	効果は変わらない指標数	0指標		未達成		1指標
	効果が下がった指標数	1指標		目標未設定		
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断			

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

これまでの当協会の取組は市民の健康づくりに役立っているが、当該市の協会に対し、補助金を交付している自治体が少なくなっている。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☒ その他の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 他市の動向を踏まえ、令和9年度以降の事業の在り方を検討する。
---	--

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	保健事業推進協力支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課			款	4	新規or継続	継続事業
	係	健康づくり係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	3111	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	事業期間	開始年度	S50	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり		終了年度	-	事業分類	支援事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進					
	基本事業	1	健康づくりの推進					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野市医師会に交付金を交付し、佐野市で行う各種健診・健康相談・教室・予防接種に対して、各医療機関との調整や医師の割振りなどを依頼している。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市民の健康づくりが図られる。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		特定健診受診率	%	値が大きいほど良い	37.0	39.0	41.0	43.0	45.0
		がん検診受診率(指針で定める5がん)	%	値が大きいほど良い	30.0	24.1	25.8	27.4	28.9

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	<市の活動> 佐野市医師会に交付金を交付するための事務（申請書の内容審査、交付決定、実績報告書の内容審査、交付金の交付）。 <佐野市医師会の活動> 各種保健事業への協力。各種検診や各種予防接種種における市との協議、指導及び各医療機関との調整。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		医師会会員数	人	190	205	204	205
		医療機関数（歯科除く）	箇所	78	79	78	77
		事業費計	千円	900	900	900	900
		一般財源	千円	900	900	900	900
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	特定健診、がん検診とも受診率は目標値には達していないが、年々増加している。	（4）事業効果を説明する数値データの推移	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
			特定健診受診率	%	32.5	33.7	35.3	34.5	効果が上がった	×
			がん検診受診率(指針で定める5がん)	%	19.4	20.2	21.2	21.7	効果が上がった	×

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標	効果		
	目標未達成だった指標数	2指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果が上がった指標数	2指標			
	効果は変わらない指標数	0指標			
	効果が下がった指標数	0指標			
効果 (R7と過去3年平均の指標増減)	指標全体	効果が上がった	目標達成	達成	2指標
			目標未設定	未達成	
費用（R7とR6の事業費計増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断			

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

医師会に協力を得ながら各種事業を実施し、特定健診受診率及びがん検診受診率は増加しているため、特に検討事項なし。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 引き続き、当団体の活動を支援していく。
---	---------------------------------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	健康まつり開催事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当あり	コンパクトシティ		スマートシティ	

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課			款	4	新規or継続	継続事業
	係	健康づくり係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	3111	名称	根拠法令、条例等	目	2	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	事業期間	開始年度	S58	実施方法	一部委託
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり		終了年度		事業分類	イベント等開催事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進					
	基本事業	1	健康づくりの推進					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	市民一人ひとりが、健康でいきいきと生活できるよう、健康に対する正しい知識の普及を図るとともに、自らの健康づくりへの意識を高め、活気あるまちづくりを目指すことを目的に開催する。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市民が心身ともに健康でいきいきと生活できるようにする。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	値が大きいほど良い	76.5	78.0	79.0	80.0	81.0

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	8月：開催日確定 9月～10月：各団体会託契約（足利歯科衛生士会、佐野市薬剤師会、県栄養士会安足支部、県看護協会安足支部）、事前打ち合わせ 11月：イオンモール佐野新都市にて健康まつりを実施（健康クイズ、健康チェック、簡易HbA1c検査、健康相談、お薬相談、栄養相談、歯科相談） 各コーナーを設け、健康に関する知識の普及啓発を図った。また、協力企業と連携を行い、物品の配布も行った。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		参加者延人数	人	668	1,541	1,812	1,747
		参加団体数	団体	6	9	12	12
		事業費計	千円	108	120	190	209
		一般財源	千円	108	120	190	209
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	健康まつり参加者に対し、相談やクイズ実施など健康に関する知識を広く啓発することができている。しかしながら、健康づくりに取り組んでいる市民の割合は減少し、健康に関係した情報提供の強化が必要。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	73.5	75.2	72.6	71.3	効果が下がった	×

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標	効果		
	目標未達成だった指標数	1指標			
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	目標達成	達成	効果が上がった
	効果は変わらない指標数	0指標		未達成	効果が変わらない
	効果が下がった指標数	1指標	目標未設定		効果が下がった
	指標全体	効果が下がった			1指標
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

参加者より「会場が混みあっていた。整理券の配布方法がわかりづらい。」との意見があった。 今後は更に参加しやすい会場設営等を検討し、通りがかりの人でも気軽に参加できる事業を行えるよう内容を検討していく必要がある。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☒ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 ・今後も委託団体や協力企業と連携し、参加しやすいイベントを実施し、健康に関する知識の普及啓発を行う。 ・令和9年に向けて開催場所の検討を行う
---	---

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	健康サポートさの活動推進事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事項	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課		健康サポートさの活動推進事業		款	4	新規or継続	継続事業
	係	健康づくり係				項	1	市単独or国庫補助	市単独事業
政策体系	体系コード	3111	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		事業期間	開始年度	H24	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度		事業分類	支援事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進						
	基本事業	1	健康づくりの推進						
				健康増進法 佐野市健康長寿推進条例 さの健康 2 1 プラン					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	市民の健康づくり推進のために活動する「健康サポートさの」に対して交付金を支出し、その活動を支援する。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	健康に対する正しい知識の普及を図り、健康意識の向上を図る。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		活動における参加者数	人	値が大きいほど良い	1,390	1,410	1,430	1,450	1,470

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	<市の活動> ・健康サポートさのに交付金を支出する事務 ・各支部活動に対する助言指導、会員の養成講座等の支援 <団体の活動> ・7支部に分かれ、各種教室を企画し開催 ・日本食生活協会や栃木県からの委託事業を実施	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		会員数（総会時）	人	123	119	108	108
		活動回数	回	82	86	87	101
		養成講座修了者数	人	11	5	9	7
		事業費計	千円	600	600	500	600
		一般財源	千円	600	600	500	600
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	活動回数が増え、参加者数も増えたため健康に関する知識を広く普及することができている。	（4）事業効果を説明する数値データの推移	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
			活動における参加者数	人	1,293	1,882	1,519	1,989	効果が上がった	○

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	1指標	効果			
	目標未達成だった指標数	0指標	効果が上がった			
	効果が上がった指標数	1指標	効果が変わらない			
効果 (R7と過去3年平均 の指標値増減)	効果は変わらない指標数	0指標	目標達成 未達成 目標未設定	1指標		効果が下がった
	効果が下がった指標数	0指標				
	指標全体	効果が上がった				
	費用（R7とR6の事業費計増減）	費用が増加した		※ 1 0 万円以上の増減により判断		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

会員の高齢化に伴い、会員数が徐々に減っており、若者世代の会員の養成が必要である。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明	市民への健康づくりの啓発や地域における健康づくりの推進のために、健康サポーター（会員）の人材育成を行う。
---	------	--

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	健康マイレージ事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当あり

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課				款	4	新規or継続	継続事業
	係	健康づくり係				項	1	市単独or国庫補助	市単独事業
政策体系	体系コード	3111	名称	根拠法令、条例等	事業 期間	目	3	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり			開始年度	H31	実施方法	一部委託
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度		事業分類	その他市民に対する事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進						
	基本事業	1	健康づくりの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	ウォーキングや健診・検診受診等の健康づくり活動に取組んだことに対し、ポイントを付与する事業。 一定のポイントを達成した方にデジタルギフト等を贈呈する。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	ポイントを付与するという特典を設けることにより、市民の更なるモチベーションの向上や、今まで健康づくりにあまり関心のなかった方、いわゆる「健康無関心層」の方に対してアプローチを行うことを狙いとする。 また、健康な生活習慣の重要性に対する関心と理解を深め、自らの主体的な健康づくりにつなげることができる。
-------------------------	---

（3）目標値

		↓選択して下さい		後期計画				
効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11	
健康マイレージ参加者	人	値が大まかいほど良い	5500	5000	5500	5500	5500	
景品贈呈者(目標達成者)	人	値が大まかいほど良い	3000	3000	3000	3000	3000	

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	※令和5年度はデジタル推進課の予算でアプリを実施 ※令和6年度～はアプリを健康増進課で引き継いで実施 ※令和3～4年度は、記録用紙を用いた方法で実施。 4月 事業者との打合せ開始(月1回) 5月 休眠アカウント削除 6月 キャンペーン開始。チラシやポスター、広報等を用いて周知。 12月 アンケート作成及びアンケート実施 1月 キャンペーン終了 3月 QUOカードPayの配布
--------------------------	--

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
アクティブ参加者の平均歩数	歩	－	6,001	6,409	6,550
事業費計	千円	171	12,470	12,992	17,349
一般財源	千円	135	3,840	0	0
特定財源（国・県・他）	千円	36	8,630	12,992	17,349
（うち受益者負担）	千円	0	0	0	0

（3）活動による効果

効果説明	参加者は年々増加している。R5→R6にかけて、目標の達成ノルマを上げた中でも目標達成者は増えている。そして、健康な生活習慣の重要性に対する関心と理解を深め、自らの主体的な健康づくりにつなげることができている。
------	--

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
健康マイレージ参加者	人	144	2655	3865	3827	効果が上がった	×
景品贈呈者(目標達成者)	人	123	1214	1586	1538	効果が上がった	×

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成 (R7と過去3年平均の指標値増減)	目標達成した指標数	0指標
	目標未達成だった指標数	2指標
	効果が上がった指標数	2指標
	効果は変わらない指標数	0指標
	効果が下がった指標数	0指標
効果	指標全体	効果が上がった
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用が増加した

※1 0万円以上の増減により判断

		効果		
目標達成	達成	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	未達成	2指標		
	目標未設定			

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

R7年度は登録者が伸びなかったため、周知方法について改めて検討していく必要がある。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☒ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☒ その他の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 ① R8年度より景品をQUOカードペイからデジタル地域通貨「さのまるペイ」に変更するため、各種媒体を活用して周知を図る。 ② R8年度中にR9年度に向けた事業費や事業の在り方を検討する。
--	--

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	健康増進事業等推進協力支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課				款	4	新規or継続	継続事業
	係	健康づくり係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	3111	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		事業期間	開始年度	S50	実施方法	一部委託
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	-	事業分類	支援事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進						
	基本事業	1	健康づくりの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	県内の健康増進事業の実施にあたり、（一社）栃木県医師会及び（一社）栃木県歯科医師会の協力を得て一層の推進を図るため、交付金を交付する。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	医師、歯科医師の協力により、疾病の予防及び重症化防止の健康教室、また健（検）診を実施することにより、疾病の予防・早期発見と早期治療を行い、市民の健康の保持増進を図る。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	値が大きいほど良い	76.5	78.0	79.0	80.0	81.0

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に 行った主な活 動内容)	・市の活動 （一社）栃木県医師会、（一社）栃木県歯科医師会へ請求書 に基づき、交付金を交付する。 ・（一社）栃木県医師会、（一社）栃木県歯科医師会の活動 各種委員会活動、市民フォーラム等の開催	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		健康増進事業の参加者数（人）	人	1,931	3,426	3,355	3,863
		事業費計	千円	569	569	569	569
		一般財源	千円	569	569	569	569
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	事業への参加者は減少しており、健康づくりに取り組んでいる市民の割合も減少した。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	73.5	75.2	72.6	71.3	効果が下がった	×

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標	効果		
	目標未達成だった指標数	1指標			
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	目標達成	達成	効果が上がった
	効果は変わらない指標数	0指標		未達成	効果が変わらない
	効果が下がった指標数	1指標	目標未設定		効果が下がった
	指標全体	効果が下がった			1指標
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

医師、歯科医師の協力により様々な年齢層や職種の市民が参加することができた。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	<table><tr><td>取組説明</td><td>事業の開催日時・会場の設置や関心の高いテーマの選択、また広報媒体や地区組織等の活用を検討し、引き続き健康増進事業を行っていく。</td></tr></table>	取組説明	事業の開催日時・会場の設置や関心の高いテーマの選択、また広報媒体や地区組織等の活用を検討し、引き続き健康増進事業を行っていく。
取組説明	事業の開催日時・会場の設置や関心の高いテーマの選択、また広報媒体や地区組織等の活用を検討し、引き続き健康増進事業を行っていく。		

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	佐野市地域保健協議会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	健康増進課		佐野市地域保健協議会参画		款	4	新規or継続	継続事業	
	係	健康づくり係		事業		項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	3111	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり			事業 期間	開始年度	S51年度	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり				終了年度	-	事業分類	参画事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進							
	基本事業	1	健康づくりの推進							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野市の医療実態を調査し、佐野市医師会、佐野市、安足健康福祉センターの協力体制を確立して、地域保健の向上を図る佐野市地域保健協議会に対して負担金を支出し、事業を実施する。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市民が自分の健康状態を把握し、自主的に健康づくりに取り組むようにする。	効果指標	単位	指標の性質	R7	後期計画			
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	値が大きいほど良い	76.5	R8	R9	R10	R11

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	〈市の活動〉 佐野市地域保健協議会に負担金を支出。 総会、月例会議に参加し、各議題等について協議を行った。 団体の事業に協賛した。 〈団体の活動〉 産婦人科医による市内中学校等への健康教育や健康まつりでの血糖検査の実施及び、栄養指導用フードモデルの購入。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		月例会議開催回数	回	10	8	9	7
		月例会議出席者	人	62	50	50	41
		事業費計	千円	600	600	600	600
		一般財源	千円	600	600	600	600
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	佐野市の健康に関する課題の一つである健診・検診の受診率が低いことに関して、受診率は県と比較し低い状況が続いている。 また、効果指標である健康づくりに取り組んでいる市民の割合は減少していった。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	73.5	75.2	72.6	71.3	効果が下がった	×

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標	効果	達成	効果		
	目標未達成だった指標数	1指標			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果が上がった指標数	0指標					
	効果は変わらない指標数	0指標					1指標
	効果が下がった指標数	1指標					
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	指標全体	効果が下がった					
費用（R7とR6の事業費計増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断					

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

健康づくりに取り組む市民の数が増えるように、市民の興味や関心を引く教育資材の検討を行っていく。受診率向上についての取り組み内容を検討していく必要がある。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☒ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明	健康課題、市民のニーズを把握し、十分に検討しながら事業を実施する。
---	------	-----------------------------------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	栃木県市町保健師業務研究会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課				款	4	4	新規or継続	継続事業
	係	健康づくり係				項	1	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	3111	名称	根拠法令、条例等		目	1	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		事業期間	開始年度	S59	S59	実施方法	一部委託
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	—	—	事業分類	参画事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進							
	基本事業	1	健康づくりの推進							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	・栃木県市町保健師業務研究会会員負担金 ・研究会に参加し、研修・調査・研究することにより、保健師の資質の向上を図り、地域住民の健康と福祉の向上に寄与する。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	保健師一人一人が保健師としての役割を理解し、市民の健康づくりに役立てる。	効果指標	単位	指標の性質	R7	後期計画			
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	値が大きいほど良い	76.5	R8	R9	R10	R11

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	〈市の活動〉 栃木県市町保健師業務研究会に負担金を支出、総会及び研修会への参加 〈研究会の活動〉 総会及び研修会、役員会 役員はブロック毎に選出し、安足ブロックは2年ごとに足利市と佐野市が交互に担当する。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		本市の研修会参加者数	回	20	10	11	14
		事業費計	千円	24	23	25	26
		一般財源	千円	24	23	25	26
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	保健師が健康に関する最新の知識を深め、その知識を市民に還元したが、健康づくりに取り組む市民を増やすことはできなかった。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	73.5	75.2	72.6	71.3	効果が下がった	×

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標	効果		
	目標未達成だった指標数	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	目標達成	達成	
	効果は変わらない指標数	0指標		未達成	1指標
	効果が下がった指標数	1指標	目標未設定		
	指標全体	効果が下がった			
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

保健師の活動は多岐にわたるため、引き続き最新の知識を得て、資質の向上を図る必要がある。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☒ その他の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 ①分散配置となっている保健師が、偏りなく研修会に参加できるよう調整する。 ②健康課題、市民のニーズを把握し、十分に検討しながら事業を実施する。
---	--

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	栃木県公衆衛生協会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課			款	4	新規or継続	継続事業
	係	健康づくり係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	3111	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	事業期間	開始年度	S42	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり		終了年度	-	事業分類	参画事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進					
	基本事業	1	健康づくりの推進					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	栃木県の公衆衛生の向上発展に寄与することを目的に公衆衛生事業に関係する団体で組織されている栃木県公衆衛生協会に会員として参画して負担金を支出している。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	対象の栃木県公衆衛生協会会員である各団体が、健康及び環境問題に対する認識を深めると共に関係者の資質の向上を目指す。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	値が大きいほど良い	76.5	78.0	79.0	80.0	81.0

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	<市の活動> 栃木県公衆衛生協会に負担金を支出するための事務。 県と安足地区保健衛生事業功労者表彰候補者の推薦。 <団体の活動> 大会、支部大会、学会、幹事会、評議員会等を実施した。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		会議の開催回数	回	4	4	4	4
		栃木県公衆衛生協会会員数	団体	68	68	67	70
		事業費計	千円	7	7	7	7
		一般財源	千円	7	7	7	7
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	健康づくりに取り組んでいる市民の割合は減少しているため、健康に関係した情報提供の強化が必要。	（4）事業効果を説明する数値データの推移	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
			健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	73.5	75.2	72.6	71.3	効果が下がった	×

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標
	目標未達成だった指標数	1指標
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標
	効果は変わらない指標数	0指標
	効果が下がった指標数	1指標
	指標全体	効果が下がった
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用の増減無し

※ 1 0 万円以上の増減により判断

		効果		
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
目標達成	達成			
	未達成			1指標
目標未設定				

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

公衆衛生の向上発展のため、本協会に会員として参画する必要がある、特に検討事項なし。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 引き続き、当団体の活動に参画していく。
---	---------------------------------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	熱中症対策事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約①	3-⑧	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当あり
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	市民生活部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	気候変動対策課		熱中症対策事業		款	4	新規or継続	継続事業
	係	気候変動対策係				項	1	市単独or国庫補助	市単独事業
政策体系	体系コード	3111	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	5	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり			開始年度	R5	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度		事業分類	その他市民に対する事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進						
	基本事業	1	健康づくりの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	総合的な熱中症対策事業を展開し、熱中症の発生を抑制する。
------	------------------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	熱中症による救急搬送者数を減少させる。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		熱中症警戒アラートを理解している市民の割合	%	値が大きいほど良い	80.0	84.0	88.0	92.0	96.0
		WBGT（暑さ指数）	%	値が大きいほど良い	30.0	38.0	46.0	54.0	62.0
		クーリングシェルターを理解している市民の割合	%	値が大きいほど良い	30.0	40.0	50.0	60.0	70.0

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	・予想最高気温及び暑さ指数揭示（4月～10月） 本庁舎、各行政センターにさのまる看板を設置 ・熱中症警戒アラート発表時または熱中症の危険が高い場合に、佐野市防災・気象情報メールや防災無線、SNSを活用して注意喚起を行った。 ・適切な熱中症予防の普及・啓発及び取組を実践できる人材を養成することを目的とし、職員を対象に熱中症対策アンバサダー養成講座を開催した。 ・熱中症予防のための気候変動適応法に基づくクーリングシェルター（指定暑熱避難施設）の設置 ・熱中症対策標語コンテストの実施	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		クーリングシェルター（旧涼み処）設置数	箇所		32	66	73
		熱中症対策アンバサダー養成講座受講者数（延べ）	人		62	103	177
		熱中症に関する健康教育の実施回数	回		5	4	6
		事業費計	千円	0	304	2,542	2,529
		一般財源	千円		304	2,532	2,518
		特定財源（国・県・他）	千円			10	11
		（うち受益者負担）	千円			10	11

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (R7と過去3年平均の指標値増減)	クーリングシェルター設置数は増加となった。 熱中症対策アンバサダー養成講座受講者数は増加となった。 熱中症対策標語コンテストの応募者数は、433件あり熱中症に対する関心が高まった。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		熱中症警戒アラートを理解している市民の割合	%			78.9	79.2	効果が上がった	×
		WBGT（暑さ指数）	%			22.8	23.7	効果が上がった	×
		クーリングシェルターを理解している市民の割合	%			25.0	26.3	効果が上がった	×

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成 (R7と過去3年平均の指標値増減)	目標達成した指標数	0指標	効果		
	目標未達成だった指標数	3指標			
	効果が上がった指標数	3指標	目標達成	達成	効果が上がった
	効果は変わらない指標数	0指標		未達成	効果が変わらない
	効果が下がった指標数	0指標		3指標	効果が下がった
	指標全体	効果が上がった	目標未設定		
費用（R7とR6の事業費計増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断			

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・熱中症対策の基準となるWBGTの認知度が低迷している。今後は気温や熱中症警戒アラートだけでなくWBGTの認知度を上げるための工夫が必要である。
・クーリングシェルターの認知度が市民アンケートによると26.3%という結果だった。今後は認知度を上げるための更なる啓発を強化して行く必要がある。
・クーリングシェルター設置について市街地は増えているが、それ以外の地域の増加が課題である。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☒ その他の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 ・熱中症対策標語コンテスト入賞作品を活用したポスターを作成し、更なる普及啓発を行う。 ・クーリングシェルターの普及・啓発 ・熱中症普及団体の指定を行う。
---	--

事業名	食育推進事業	実施計画事業or一般事業	一般事業		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	会計 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	農政課				款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係				項	1	市単独or国庫補助	市単独事業
政策体系	体系コード	3111	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		事業 期間	開始年度	H25	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度		事業分類	啓発事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進						
	基本事業	1	健康づくりの推進						
				食育基本法					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	市民が生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むことができるよう、佐野市食育推進計画を推進する。
------	--

(2) 目的

(3) 目標値

↓選択して下さい

(2) 目的		(3) 目標値				↓選択して下さい	後期計画				
目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	食育の推進	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11		
		食育に関心がある市民の割合	%	値が大きいほど良い	78						
		成分表示を参考にしている市民の割合	%	値が大きいほど良い	69						

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R7年度に 行った主な活 動内容)	・食育推進会議の開催 ・食育講座の開催	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		食育推進会議	回	1	2	2	2
		食育講座	回	0	1	1	1
		事業費計	千円	15	25	25	82
		一般財源	千円	15	25	25	82
		特定財源（国・県・他）	千円				
		（うち受益者負担）	千円				

（３）活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果説明	生涯にわたり、心身ともに健康で、生き生きと生活できるようにする。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		食育に関心がある市民の割合	%	70	78	83	78	効果が上がった	○
		成分表示を参考にしている市民の割合	%	63	58	65	69	効果が上がった	○

(5) 目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	2指標	効果			
	目標未達成だった指標数	0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
効果 (R7と過去3年平均 の指標値増減)	効果が上がった指標数	2指標	目標達成	達成	2指標	
	効果は変わらない指標数	0指標		未達成		
	効果は変わらない指標数	0指標		目標未設定		
	効果が下がった指標数	0指標				
	指標全体	効果が上がった				
費用（R7とR6の事業費計増減）	費用の増減無し		※ 1 0 万円以上の増減により判断			

※ 10万円以上の増減により判断

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特になし

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

- ☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成）
- ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む）
- ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討
- ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討
- ☐ その他の検討
- ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	
現状維持	

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	小学校児童フッ化物洗口事業			実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり		コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	学校教育課		小学校児童フッ化物洗口事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	学務係			項	2	市単独or国県補助	国県補助事業	
政策体系	体系コード	3111	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		事業	開始年度	H29	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり		期間	終了年度	－	事業分類	健診・予防事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進						
基本事業	1	健康づくりの推進							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	市立学校において、週 1 回全児童にフッ化物による洗口（うがい）の指導を行う。								
------	---	--	--	--	--	--	--	--	--

（2）目的

目的 （本事業によって成し遂げたい状態）	児童のむし歯予防の一環として実施することで、有病率の低減を図り、歯の健康の保持増進を図る。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		実施のべ児童数	人	値が大きいほど良い	130,022	130,022	130,022	130,022	130,022
		むし歯の有病率	%	値が小さいほど良い	40	40	40	40	40

（3）目標値

↓選択して下さい

後期計画

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 （R7年度に行った主な活動内容）	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
	実施校	校	16	16	18	18
	5/1児童数	人	5,294	5,161	5,048	4,970
	事業費計	千円	349	390	579	588
	一般財源	千円	288	375	524	538
	特定財源（国・県・他）	千円	61	15	55	50
	（うち受益者負担）	千円	0	0	0	0

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	児童の歯の健康に関する知識が深まり、むし歯の有病率を低減させる。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		実施のべ児童数	人	85,338	130,272	130,022	140,816	効果が上がった	○
		むし歯の有病率	%	42.8	41.5	40.1	35.1	効果が上がった	○

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	2指標	効果 効果が上がった 効果は変わらない 効果が下がった
効果 （R7と過去3年平均の指標値増減）	目標未達成だった指標数	0指標	
	効果が上がった指標数	2指標	
	効果は変わらない指標数	0指標	
	効果が下がった指標数	0指標	
	指標全体	効果が上がった	
費用（R7とR6の事業費計増減）	費用の増減無し		※ 1 0 万円以上の増減により判断

目標達成	達成	2指標	
	未達成		
目標未設定			

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和 4 年度から国の「口腔保健推進事業費補助金」の対象事業となっていることから、今後も引き続き補助金を活用し、児童のむし歯有病率の低減を図る。 事業の効果を共有し、今年度も令和 6 年度に引き続き全校で実施した。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	保健センター維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	健康増進課			款	4	新規or継続	継続事業	
	係	地域医療係			項	1	市単独or国庫補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	3111	名称	根拠法令、条例等	目	4	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	佐野市保健センター条例	事業期間	開始年度	S58	実施方法	一部委託
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり		終了年度	-	事業分類	施設維持管理事業	
	施策	1	心と体の健康づくりの推進						
	基本事業	1	健康づくりの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	保健センターの維持管理に係る経費（佐野市保健センター及び葛生あくと保健センター）
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	保健センターを快適に使用するための維持管理（修繕、工事、保守点検等）を行う。 ※清掃業務、機械警備保守、消防用設備等保守、家用電気工作物保安管理、空調機器保守点検、熱交換器保守点検、除草及び植木剪定、電話交換設備保守、定期清掃業務
-------------------------	--

（3）目標値

		↓選択して下さい		後期計画				
効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11	
施設の修繕及び工事件数（佐野）	件	値が大きいほど良い	4	2	2	3	3	
施設の修繕及び工事件数（葛生）	件	値が大きいほど良い	4	4	4	5	5	
各設備等の保守点検数（佐野）	件	値が大きいほど良い	5	5	5	5	5	
各設備等の保守点検数（葛生）	件	値が大きいほど良い	9	8	8	8	8	

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	佐野市保健センター及び葛生あくと保健センターの施設利用者数（乳幼児健診、集団健診など）	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		施設利用者数	人	12,428	11,677	3,322	12,343
		事業費計	千円	19,796	19,925	21,512	21,403
		一般財源	千円	10,868	10,659	9,208	8,702
		特定財源（国・県・他）	千円	8,928	9,266	12,304	12,701
		（うち受益者負担）	千円				

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	施設利用者に対し、安心・安全な利用を促すことができた。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		施設の修繕及び工事件数（佐野）	件	3	1	5	4	効果が上がった	○
		施設の修繕及び工事件数（葛生）	件	4	10	6	5	効果が下がった	○
		各設備等の保守点検数（佐野）	件	9	9	4	5	効果が下がった	○
		各設備等の保守点検数（葛生）	件	8	8	9	9	効果が上がった	○

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	4指標	効果		
	目標未達成だった指標数	0指標		効果が上がった	効果が下がった
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	効果が上がった指標数	2指標		2指標	2指標
	効果は変わらない指標数	0指標			
	効果が下がった指標数	2指標			
	指標全体	効果は変わらない			
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用は下がった	※ 1 0 万円以上の増減により判断		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

佐野市保健センターでは、令和 6 年度に大規模改修工事が行われ、施設の安心・安全な利用ができた。一方、葛生あくと保健センターは建設から年数が経過しており、修繕が必要な箇所が年々増えている。そのため、利用者が安心・安全に利用できるよう、保守点検を実施し、速やかに修繕を進める必要がある。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

取組説明	
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	葛生あくと保健センター空調設備改修事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課				款	4	新規or継続	継続事業
	係	地域医療係				項	1	市単独or国庫補助	市単独事業
政策体系	体系コード	3111	名称	根拠法令、条例等		目	4	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		事業 期間	開始年度	R7	実施方法	一部委託
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	R7	事業分類	施設維持管理事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進						
	基本事業	1	健康づくりの推進						
				佐野市保健センター条例					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	葛生あくと保健センターの空調設備の改修工事に係る経費
------	----------------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	相談室・ロッカー室、リハビリ室、多目的ホール、廊下、調理実習室、相談室1、会議室1、会議室2、栄養指導室、ボランティア室、ホールの空調設備を更新することで、快適な空間を作る	効果指標	単位	指標の性質	R7	後期計画			
		工事件数	件	値が大きいほど良い	1	R8	R9	R10	R11
			件	値が大きいほど良い					
			件	値が大きいほど良い					
			件	値が大きいほど良い					

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	相談室・ロッカー室、リハビリ室、多目的ホール、廊下、調理実習室、相談室1、会議室1、会議室2、栄養指導室、ボランティア室、ホールの空調設備を更新することで、快適な空間を作る (工事費39,259,000円のうち26,983,000円は繰越明許)	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		工事件数	件				1
		事業費計	千円	0	0	0	12,276
		一般財源	千円				
		特定財源（国・県・他）	千円				12,276
		(うち受益者負担)	千円				

（3）活動による効果

効果説明	相談室・ロッカー室、リハビリ室、多目的ホール、廊下、調理実習室、相談室1、会議室1、会議室2、栄養指導室、ボランティア室、ホールの空調設備が更新された	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		工事件数	件				1	効果が上がった	○
			件						
			件						
			件						

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	1指標	効果	効果が上がった	効果が変わらない	効果が下がった
	目標未達成だった指標数	0指標		1指標		
	効果が上がった指標数	1指標				
	効果は変わらない指標数	0指標				
	効果が下がった指標数	0指標				
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	指標全体	効果が上がった	目標達成	達成	未達成	
費用（R7とR6の事業費計増減）	費用が増加した		目標未設定			

※ 1 0 万円以上の増減により判断

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

葛生あくと保健センターの空調設備は、設置から20年以上経過しており、故障が頻発していました。これまで、令和3年度に1系統、令和5年度に1系統の改修を実施し、今年度は5系統の改修をに合わせて行うことで、迅速かつ一連の対応が可能となり、また、工事費の縮減にも繋がりました。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	骨髄移植ドナー支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	健康増進課			款	4	新規or継続	継続事業	
	係	地域医療係			項	1	市単独or国県補助	国県補助事業	
政策体系	体系コード	3111	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	佐野市骨髄移植ドナー支援 事業 奨励金交付要綱	事業 期間	開始年度	H29	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	-	事業分類	現金等給付事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進						
	基本事業	1	健康づくりの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	骨髄または末梢血幹細胞を提供した者及びその者が勤務する事業者等に対し、助成金を交付することで骨髄等の移植の推進及びドナー登録の推進に寄与することを目的とする。
------	---

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	骨髄等のドナーは、提供時の休業等による経済的負担から、移植に至らないケースが多数あると言われている。そこで、負担を軽減し提供へのハードルを下げることで、ドナー登録の普及及び骨髄提供者の増加を図り、市民の健康に資することを目的とする。	(3) 目標値	↓選択して下さい		後期計画				
		効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		佐野市の骨髄等の提供支援数	件	値が大きいほど良い	2	4	4	4	4

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	骨髄移植ドナー支援事業奨励金の交付対象者へ奨励金を交付した。 市ホームページ、広報紙に事業内容を掲載し、周知した。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		佐野市の骨髄等の提供支援数(個人)	人	3	1	3	2
		佐野市の骨髄等の提供支援数(事業所)	件	2	1	1	0
		事業費計	千円	560	210	490	280
		一般財源	千円	280	105	245	140
		特定財源（国・県・他）	千円	280	105	245	140
		（うち受益者負担）	千円				

(3) 活動による効果 (4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果説明	骨髄等の移植をしたものに支援をした。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		佐野市の骨髄等の提供支援数	件	3	1	3	2	効果が下がった	○

(5) 目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	1指標	効果	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	目標未達成だった指標数	0指標				
	効果が上がった指標数	0指標				
	効果は変わらない指標数	0指標				
	効果が下がった指標数	1指標				
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	指標全体	効果が下がった	目標達成	達成	未達成	1指標
			目標未設定			
費用（R7とR6の事業費計増減）	費用は下がった	※ 1 0 万円以上の増減により判断				

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

より多くの市民が骨髄等の移植及びドナー登録を行えるよう継続的に周知を行う必要がある。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	がん検診等事業	実施計画事業or一般事業	計画事	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	健康増進課				がん検診等事業	款	4	新規or継続	継続事業
	係	健康づくり係					項	1	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	3112	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	義務的事業	
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		事業期間	開始年度	S57	実施方法	一部委託	
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	-	事業分類	健診・予防事業	
	施策	1	心と体の健康づくりの推進							
	基本事業	2	健診（検診）の受診率向上							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	健康増進法、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき各種がん検診、結核検診、肝炎ウイルス検査、骨粗しょう症検診、歯周疾患検診、生活保護受給者健診を実施する。対象者には、各検診・健診の受診券と案内を一つの冊子にまとめたけんしんスタートブックを送付している。 子宮頸がん・乳がん検診の無料クーポン券を対象者に発行し、検診受診率の向上を図る。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市民が検診を受診することで、がん等の早期発見及び早期治療につなげる。（胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がん、前立腺がん、骨粗しょう症、歯周疾患）	(3) 目標値		↓選択して下さい					
		効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		がん検診受診率(指針で定める5がん)	%	値が大きいほど良い	30.0	24.1	25.8	27.4	28.9

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	・新たに骨粗しょう症検診を開始し、歯周疾患検診の対象を拡大（20歳、30歳）した。 ・市民の検診への意識向上と受診率向上のため「けんしんスタートブック」を作成し、郵送した。（5月） ・集団検診申し込みについては、コールセンターの設置（6月の5日間）、ネット予約（6月～）を行った。 ・無料クーポン対象者への受診勧奨（9月）、精密検査未受診者への受診勧奨（9,1,3月）を行った。 ・受診率向上のため、広報やHP、SNS、医療機関でのポスター貼付や健康教育などでチラシを配布するなどさまざまな機会受診勧奨を行った。（適宜）	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		個別がん検診医療機関	箇所	53	53	51	54
		集団検診回数	回	139	135	133	134
		事業費計	千円	141,537	143,773	155,754	171,476
		一般財源	千円	135,199	137,477	149,528	162,403
		特定財源（国・県・他）	千円	6,338	6,296	6,226	9,073
		（うち受益者負担）	千円	4	4	4	5

(3) 活動による効果

効果説明	検診受診率について、目標値には届いていないが、微増傾向にある。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		がん検診受診率(指針で定める5がん)	%	19.4	20.2	21.2	21.7	効果が上がった	×

(5) 目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標	効果		
	目標未達成だった指標数	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果が上がった指標数	1指標	達成	未達成	1指標
	効果は変わらない指標数	0指標			
	効果が下がった指標数	0指標			
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	指標全体	効果が上がった			
費用（R7とR6の事業費計増減）	費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

検診受診率は国、県の計画には及ばず（国・県ともに受診率目標60％）、低い状況が続いている。 受診率の向上のため、費用の負担軽減、受診体制、周知方法の検討が必要。 佐野市医師会より、「胃がん検診の検査項目に胃内視鏡検査の追加」について要望があり、検診内容の検討が必要。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☒ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
	①胃がん検診の検査項目に、胃内視鏡検査の検査の追加を検討 ②「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」の改正に伴う肺がん検診の重喫煙者に対する喀痰検査の廃止 ③検診の周知や受診再勧奨方法の検討

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	特定保健指導事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算 科目	会計	国民	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課				款	4	新規or継続	継続事業
	係	健康づくり係				項	2	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	3112	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	義務的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		事業 期間	開始年度	H20	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度		事業分類	健診・予防事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進						
	基本事業	2	健診（検診）の受診率向上						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	健康の保持・増進と医療費適正の観点から、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、40～74歳の国保加入者に対し、特定健診の結果、健康の保持増進に努める必要がある者に対して特定保健指導を実施する。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	行動変容による生活習慣及び健康状態の改善を図り、生活習慣病の発症予防と重症化を防止する。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		特定保健指導実施率	%	値が大きいほど良い	26	27	28	29	30

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	特定健康診査の受診結果に基づき動機付け支援・積極的支援の対象者に対して、保健師、管理栄養士が保健指導を実施した。初回面接時に生活改善のための個人目標を設定し、継続的支援を4か月から6か月間行った。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		動機付け支援実施者	人	199	201	187	169
		積極的支援実施者	人	17	24	33	21
		事業費計	千円	1,183	1,159	1,283	1,335
		一般財源	千円	214	166	428	445
		特定財源（国・県・他）	千円	969	993	855	890
		（うち受益者負担）	千円				

(3) 活動による効果

効果説明	目標は達成したが、昨年度と比較して特定保健指導実施率は減少した。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		特定保健指導実施率	%	30.3	32.7	34.5	30.0	効果が下がった	○

(5) 目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	1指標	効果	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	目標未達成だった指標数	0指標				
	効果が上がった指標数	0指標				
	効果は変わらない指標数	0指標				
	効果が下がった指標数	1指標				
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	指標全体	効果が下がった	目標達成	達成		1指標
			未達成			
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用の増減無し	目標未設定			

※ 1 0 万円以上の増減により判断

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特定保健指導の実施率が減少したため、特定保健指導対象者の未実施理由の分析を行う。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☒ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明	特定保健指導対象者に対するの勧奨方法を再検討する。
---	------	---------------------------

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	健診充実事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課				款	4	新規or継続	継続事業
	係	健康づくり係				項	1	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	3112	名称	根拠法令、条例等	事業 期間	目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり			開始年度	H20	実施方法	一部委託
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	-	事業分類	健診・予防事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進						
	基本事業	2	健診（検診）の受診率向上						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	国の指針で示されている健診項目以外に、市民の健康の保持増進を図るため、心電図検査、血清クレアチニン検査を受診者全員に実施する。 ※国民健康保険加入者以外も対象
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	検査項目の充実により、心疾患や腎機能障害等の早期発見と発症の予防が図られる。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		特定健診受診率	%	値が大きいほど良い	37.0	39.0	41.0	43.0	45.0

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	市民の健診への意識向上と受診率向上のため、「けんしんスタートブック」を作成し、対象者全員に世帯ごとに郵送した。その他随時、広報やホームページでの受診啓発を行ったり、健康まつりや健康教育など様々な機会を受診勧奨を行った。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		心電図検査受診者数	人	5,889	5,957	5,952	5,886
		血清クレアチニン検査受診者数	人	4,722	4,760	4,245	4,107
		事業費計	千円	5,932	7,095	7,000	6,876
		一般財源	千円	1,586	2,033	2,334	2,293
		特定財源（国・県・他）	千円	4,346	5,062	4,666	4,583
		（うち受益者負担）	千円				

(3) 活動による効果

効果説明	目標値には達してはいないが、特定健診受診率は増加している。また、心電図・血清クレアチニン検査の受診者数も増加している。更なる受診率の向上が必要。	(4) 事業効果を説明する数値データの推移	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		特定健診受診率	%		30.7	32.1	33.4	34.5	効果が上がった	×

(5) 目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	0指標	効果	効果		
	目標未達成だった指標数	1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果が上がった指標数	1指標		達成		
	効果は変わらない指標数	0指標		未達成	1指標	
	効果が下がった指標数	0指標		目標未設定		
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用は下がった	※ 1 0 万円以上の増減により判断			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

40～50代の率が20%台と低いため、働き世代の受診率向上対策を健康・長寿づくり連携協定企業等と協力しながら進めていく。 電話勧奨時に聴取した未受診の理由で、医療機関に定期受診中という方が多いため、佐野市医師会との協力・連携が必要。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☒ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 ①受けやすい受診体制の維持 ②若い世代に向けた受診率向上対策 ③佐野市医師会との連携の強化
---	---

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	人間ドック事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算科目	会計	国保（事業）	事業計画	単年度繰り返し
	課	医療保険課				款	4	新規or継続	継続事業
	係	国保係				項	1	市単独or国庫補助	国庫補助事業
政策体系	体系コード	3112	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり			開始年度	S60～	実施方法	一部委託
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	-	事業分類	健診・予防事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進			国民健康保険法 国民健康保険条例 高齢者の医療の確保に関する法律			
	基本事業	2	健診（検診）の受診率向上						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	疾病の早期発見、治療により、重症化を防ぐことを目的として、30歳以上の国民健康保険の被保険者が人間ドックを受診する際に、その費用の1/2（上限3万円）を助成する。 また、口腔疾患の早期発見及び健康の保持増進を図ること目的とし、30歳以上の国民健康保険の被保険者が歯科検診を受診する際に、その費用の全額を助成するものとする。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	疾病の早期発見により重症化を防ぎ、医療費の適正化、国民健康保険財政の健全化を図る。	(3) 目標値	↓選択して下さい		後期計画				
		効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		1人当たりの医療費の伸び	%	値が小さいほど良い	2.6	2.5	2.4	2.3	2.2

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	合計703人対して、人間ドック及び歯科検診の助成を行った。 ・日帰りドック 484人 ・日帰り+脳ドック 90人 ・脳ドック 41人 ・歯科検診 88人	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		受診者数（歯科検診含む）	人	693	632	652	703
		事業費計	千円	15,919	14,444	14,964	14,637
		一般財源	千円	13,697	12,379	12,859	12,629
		特定財源（国・県・他）	千円	2,222	2,065	2,105	2,008
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0	0

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明	引続き、ホームページやまとめて受診希望者を受付けるコールセンターを設置した効果もあり、受診者が増加した。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		1人当たりの医療費の伸び	%	4.0	4.2	△0.3	0.2	効果が上がった	○

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

(5) 目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	1指標	効果		
	目標未達成だった指標数	0指標			
	効果が上がった指標数	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標	達成	1指標	
	効果が下がった指標数	0指標	未達成		
	指標全体	効果が上がった	目標未設定		
費用（R7とR6の事業費計増減）	費用は下がった	※ 1 0 万円以上の増減により判断			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

受診者数の増に向けて、制度の周知、啓発に努めていく。 人間ドックについては、新たに指定医療機関に手を挙げるクリニックがあり、どのように医療機関指定事務を進めていくかが課題とされた。 歯科検診については、引き続き自己負担額を無料とし、受診しやすい環境を整える。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☒ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 人間ドックについては、佐野市医師会に協力を求め、指定医療機関の拡大を検討する。 歯科検診については、引き続き自己負担額を無料とし、受診しやすい環境を整える。
---	---

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	特定健康診査受診率向上事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算科目	会計	国保（事業）	事業計画	単年度繰り返し
	課	医療保険課				款	4	新規or継続	継続事業
	係	国保係				項	2	市単独or国庫補助	国庫補助事業
政策体系	体系コード	3112	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	国民健康保険法 国民健康保険条例 高齢者の医療の確保に関する法律	事業期間	開始年度	S60～	実施方法	一部委託
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	-	事業分類	健診・予防事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進						
	基本事業	2	健診（検診）の受診率向上						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	疾病の早期発見、治療により、重症化を防ぎ、国民健康保険事業の健全な運営に資することを目的に、特定健康診査の受診率の向上を図り、医療費の抑制につなげる。
------	---

（2）目的

目的 （本事業によって成し遂げたい状態）	特定健康診査の受診率を向上させることにより、被保険者の疾病の早期発見、早期治療につなげ、医療費を抑制する。	（3）目標値	↓選択して下さい		後期計画				
		効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		1人当たりの医療費の伸び	%	値が小さいほど良い	2.6	2.5	2.4	2.3	2.2

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に 行った主な活 動内容)	・受診履歴等のデータより受診勧奨効果が見込まれると判断された 対象者に対し健康意識にあわせて勧奨通知を送付した。(実施人 数9,932人 延べ17,233人) ・かかりつけ医から診療情報を提供してもらうことで、特定健康診査 を受診したとみなす、「かりつけ医との診療情報連携事業」を実施し た。(情報提供者93人) ・健診未受診者に対し、電話による勧奨を行った。(実施人数955 人) ・40代の未受診者宅を訪問し、受診啓発・勧奨を実施した。(訪 問件数136件)	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		特定健康診査受診率	%	32.5	33.7	35.3	34.5
		事業費計	千円	5,821	5,971	7,763	8,405
		一般財源	千円	0	110	948	364
		特定財源(国・県・他)	千円	5,821	5,861	6,815	8,041
		(うち受益者負担)	千円	0	0	0	0

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明	ナッジ理論を活用した受診勧奨により、特定健康診査受診率を高めたが、1人当たりの医療費の伸びは増加した。コロナ禍後の受診控えの反動（収束）や、それに伴いオンライン診療やAI等のデジタル技術の活用による医療の効率化等の医療の高度化が要因と考えられる。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		1人当たりの医療費の伸び	%	4.0	4.2	△0.3	0.2	効果が上がった	○

（4）事業効果を説明する数値データの推移

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	1指標	目標達成	達成	効果				
	目標未達成だった指標数	0指標			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった		
効果 (R7と過去3年平均 の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標		未達成	1指標				
	効果は変わらない指標数	0指標							
	効果が下がった指標数	0指標							
	指標全体					効果が上がった			
	費用（R7とR6の事業費計増減）					費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

受診者数の増に向けて、ナッジ理論を積極的に活用し自発的な特定検診の受診行動を促し、市民の健康の保持増進、医療費の抑制につなげていくことが求められているが、上昇幅が小さくなってきている。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☒ その他の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 未受診者への受診勧奨について、もう一歩踏み込んで、受診手続きを楽に、魅力・関心を引く内容で、周囲の目を意識させ、適切なタイミングで勧奨できるよう工夫する。
---	---